

2022 年度 福祉助成金(活動助成) 成果報告書

| | | |
|---------|-----------------------|---|
| ふりがな | あがたのさとまちづくりすいしんきょうぎかい | |
| 団体名 | 県の里まちづくり推進協議会 | |
| 代表者名 | 岡田章文 | |
| 連絡先 | 住所 | 岡山県井原市門田町 1608 |
| | TEL | 0866-62-8405 |
| | E-mail | a_okada@ibara.ne.jp |
| | URL | http://agatanosato.jp/ |
| 設立年(西暦) | 2012 年 | |
| 助成活動名 | ふるさと便利屋さん | |
| 助成額 | 200,000円 | |
| 活動内容 | 目的 | <p>公益的事業としての位置づけで、高齢者世帯や一人暮らしの世帯の軽微な作業を肩代わりし、安心して暮らすことができ、高齢化社会を迎える中で「幸せを実感することができる地域」を目指します。</p> |
| | 内容 | <p>高齢者世帯や一人暮らしの世帯で、日常生活を送るにあたって、若い人が普通に考えると軽微な作業でも、その世帯にとっては難しい作業があります。これを基に、作業依頼があったとき、それぞれの分野から作業をする人に出向いてもらって、依頼された作業を行います。(活動にあたっては、部品・材料代等の経費は、依頼者負担とする。)</p> <p>社会福祉協議会が実施しているボランティアセンター(ワンコイン事業)と協力しあい、2層階の取り組みとして事業を進めている。事業の窓口を公民館が行い、地域の皆さんへ周知しています。</p> <p>活動例 ○小規模工事(土木・建築・電気) ○草刈り・簡単な剪定 ○支障木の伐採</p> |
| | 成果 | <p>助成金に係る項目</p> <p>○ 立木(高木)の伐採は、危険が伴うもので、個人の技術に加えて装備が重要な役割を果たします。橋本財団からの助成金で購入したチルホールにより伐採に係る作業を安全に行うことができます。さらに、伐採後の枝などの処理は、バッテリーチェーンソーによりスムーズに行うことができます。</p> <p>事業全体に係る項目</p> <p>○ 本来、草刈りや立木の伐採作業は高額な経費を伴い、年金生活されている高齢者世帯等では大きな負担となります。見積りの段階から、最低の経費を見込んで、相談した上で作業を実施しているため、依頼される方々に喜ばれています。</p> |

○ ふるさと便利屋さんのスタッフは、現在15名が在籍し、そのほとんどが退職者ですが、スタッフにとってはこの事業をとおして少しでも地域に貢献しているという意識が芽生えています。

○ 継続して依頼される方が増えています。

○ 県主地区社会福祉協議会が実施しているボランティアセンター事業(有償助け合い活動)と共同して、地域の方々がより使いやすいシステムとなっています。

今後の課題と対応策

- 立木の伐採や草刈り作業は、安全に最も気を付けて行っていますが、依頼者への負担(作業時間)を考えると、さらに効率的に作業が行える機械設備の導入が必要であると考えています。
- 依頼件数が増加する中で、対応するスタッフの充実が課題です。地域内で声がけをして、増員を図っています。
- 今後、さらに少子高齢化社会へ向かう中で、快適な住環境を求めるために需要が増加すると思われます。この事業が少しでも役立ち、地域の人々が安全に安心して暮らすとともに「幸せが実感できる」ように、作業種目等についても検討していきたいと思えます。
- 空き家の維持管理(建物や周辺環境整備)についても今後の検討課題です。
- 今後継続していくためには、見積もり内容についてさらに検討していく必要があります。
工種ごとの単価・作業者の報償費(謝礼金)・諸経費等

チルホール 2 台



写真の提出



バッテリーチェーンソー2台

